

モニタリング結果報告書（平成25年度下半期）

| | |
|-------|--------------------|
| 施設 | 伊勢原射撃場 |
| 指定管理者 | 一般社団法人神奈川県射撃協会 |
| 指定期間 | H25.1.1 ～ H30.3.31 |
| 施設所管課 | スポーツ課 () |

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

C

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

| |
|---|
| <p>< 1 管理運営等の状況 > オープンから1年が経過し、上半期における施設利用者の要望等に対する真摯な対応に加え、下半期においても鋭意努力しており、概ね事業計画書の内容どおりの取組みを実施しているため、B評価となった。</p> <p>< 2 収支状況 > 狩猟期間中の11月から2月までの4カ月間の利用者数が激減し大幅な収入減となったが、2月から教習射撃・技能講習を実施し、3月には大幅な収入増となった。平成14年度の休場から11年ぶりに再開場したばかりであること、また、狩猟人口の減少や県内競技団体及び県猟友会の会員登録数の減少などを背景に、利用料金収入が対当初の計画に遠く及ばないものの、徹底したコスト削減により支出の抑制を行っている。計画と異なり、収支差額が10.5%のマイナスとなったため、C評価となった。</p> <p>< 3 利用状況 > 当初見込んでいた団体利用による大会の開催件数が伸びず、また、狩猟期間中の利用者数が平常月に比べて400人から600人程度減少したことにより、目標対比増減率が77.1%に止まったことから、D評価となった。</p> <p>< 4 利用者の満足度 > 3月に実施し、上位2段階の回答割合が81.0%となったためA評価となった。回収率は、窓口において利用者への呼び掛けに努めた結果、90.6%と高くなった。</p> <p>< 5 苦情・要望等 > トイレの洋式化など、施設設備の機能向上に関する声が寄せられたが、指定管理者に起因しないものであったため、B評価となった。</p> <p>< 6 事故・不祥事等 > 日ごろから利用者の安全管理に注力していることから、A評価となった。</p> <p>< 今後の方針等 > 引き続き利用者の安全管理の徹底と将来の射撃競技人口の裾野の拡大に資するような施設の管理運営を期待したい。また、今後の対応策としては、広報を含めた積極的な大会誘致のための活動と、狩猟期に射撃場主催のイベントを企画・開催することにより、利用者の拡大に努めてもらいたい。</p> |
|---|

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

| | 提案内容 | 実施状況等 |
|---------------|--|---|
| 1 (指定管理業務) | <p>【施設の維持管理について】 施設内の改修を含む維持管理については、射撃場の利用者への直接的サービスの低下につながらないよう、優先して取り組む。</p> | <p>上半期同様、経年劣化による修繕箇所が多く見られ（特にクレ射場のクレ標的放出機が顕著）、射撃中の利用者へ一時射撃を中止していただき、修繕する等のケースが上半期に比べ、多少増える傾向にある。 その都度真摯に対応し、利用者には不快感を与えないように鋭意努力してきたところであり、利用者アンケートからも満足度を維持することが出来ていると考える。</p> |

| | 提案内容 | 実施状況等 |
|---------------|---|---|
| 2 (指定管理業務) | 【事故防止のための安全指導】 射撃場の責務として、単に射撃競技の実施のみならず、利用者の射撃技能の向上、安全対策、安全意識の啓蒙に努める。 | 安全指導及び対策については、上半期に引き続き実施中である。 さらに2月から射撃教習及び技能講習を実施し、両受講者に対しても事故防止のための安全指導を徹底した。 |
| 3 (指定管理業務) | 【ニーズに合った射撃場運営】 当射撃場は、射撃愛好者以外にも狩猟者の猟期終了後の残弾処理の場、また、銃を所持していない子供から大人までが自由に楽しみながら射撃ができるような総合射撃場として、利用者の期待に応じていく。 | 当射撃場はクレー、大口径、小口径、空気銃の設備を有した総合射撃場であるが、加えて指定管理者として場内設備等を整えた事により、ハイパワー空気銃の対応が可能となった。(関東圏では当射撃場のみであり、下半期に当射撃場において、初めて関東甲信越東海大会が開催された。) また、ビームライフルの体験射撃教習を地元伊勢原市スポーツ課と協力して教習会を実施したところ、2日間で170名を超える参加者及び利用者があった。なお、26年度は実施回数を増やす予定である。 |
| 4 (指定管理業務) | 【競技人口の拡大】 現在の銃砲所持者がスポーツや狩猟活動を続けやすい環境をつくり、また、一般の方への射撃スポーツ・狩猟の安全性や魅力をPRし、若年層の育成に繋げる。 | 平成26年2月から射撃教習、技能講習を開始し、新たに銃砲所持を希望する方々へ場所を提供している。 また、平成25年度に新たに射撃部が創設された近隣の高校があることから、今後も競技人口の更なる拡大に努める。 |
| 5 (指定管理業務) | 【地元人材の活用】 射撃場関係者の採用については、危機管理の迅速性他、幅広いメリットが期待できるため、地元の方を優先採用していただく方針である。 | 射撃場の従業員については、地元の方々を積極的に採用しており、そのため多くの地域情報が入ってくることから、施設運営にも有効活用させていただいている。今後も地元人材を活用していきたい。 |

(2) 月例報告書による確認状況

| 報告月 | 受理日 | 確認通知日 | 確認方法 | | | 指導等の有無 | 備考(指導事項等) |
|-----|-------|--------|------|------|------|--------|-----------|
| | | | 月報確認 | 現場確認 | 電話確認 | | |
| 10月 | 11月6日 | 11月29日 | ○ | — | ○ | 無 | |
| 11月 | 12月6日 | 1月9日 | ○ | — | ○ | 無 | |
| 12月 | 1月7日 | 1月27日 | ○ | — | ○ | 無 | |
| 1月 | 2月5日 | 3月7日 | ○ | — | ○ | 無 | |
| 2月 | 3月6日 | 3月31日 | ○ | — | ○ | 無 | |
| 3月 | 4月5日 | 5月9日 | ○ | — | ○ | 無 | |

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月 の 10 日まで

2 収支状況

評価 C

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
 B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
 C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
 D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

| | | 収入額（自主事業収入は除く） | | | 収入合計 | 支出額 | | 収支差額 | |
|------------------|----------------|----------------|---------|---------|-----------|-----------|-----------|---------|---------|
| | | 指定管理料 | 利用料金 | その他収入 | | うち納付金 | | | |
| 募集時の累積算額 (参考) | | 0 | 72,053 | 23,353 | 95,406 | 95,406 | 2,260 | 0 | |
| 年度計画 | 前年度 | 7,645 | 0 | 0 | 7,645 | 7,645 | 0 | 0 | |
| | 上半期 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 下半期 | 7,645 | 0 | 0 | 7,645 | 7,645 | 0 | 0 | |
| | 今年度 | 0 | 65,350 | 37,003 | 102,353 | 102,353 | 4,407 | 0 | |
| | 上半期 | 0 | 32,675 | 18,502 | 51,177 | 51,177 | 0 | 0 | |
| | 下半期 | 0 | 32,675 | 18,501 | 51,176 | 51,176 | 4,407 | 0 | |
| 上半期合計 | | 0 | 18,477 | 15,081 | 33,558 | 33,559 | 0 | ▲ 1 | |
| 対収支計画比 | | | ▲ 43.5% | ▲ 18.5% | ① ▲ 34.4% | ② ▲ 34.4% | ③ | 0.0% | |
| 通年実績 | 10月 | 0 | 2,959 | 2,180 | 5,139 | 8,007 | 2,203 | ▲ 2,868 | |
| | 11月 | 0 | 3,024 | 2,166 | 5,190 | 4,957 | 0 | 233 | |
| | 12月 | 0 | 2,108 | 1,878 | 3,986 | 5,324 | 0 | ▲ 1,338 | |
| | 1月 | 0 | 2,336 | 2,218 | 4,554 | 5,021 | 0 | ▲ 467 | |
| | 2月 | 0 | 1,912 | 1,924 | 3,836 | 4,706 | 0 | ▲ 870 | |
| | 3月 | 0 | 3,637 | 3,348 | 6,985 | 7,066 | 2,204 | ▲ 81 | |
| | 下半期合計 | | 0 | 15,976 | 13,714 | 29,690 | 35,081 | 4,407 | ▲ 5,391 |
| | 対収支計画比 | | | ▲ 51.1% | ▲ 25.9% | ① ▲ 42.0% | ② ▲ 31.5% | ③ | ▲ 10.5% |
| | 通年合計 | | 0 | 34,453 | 28,795 | 63,248 | 68,640 | 4,407 | ▲ 5,392 |
| | 対収支計画比 | | | ▲ 47.3% | ▲ 22.2% | ① ▲ 38.2% | ② ▲ 32.9% | ③ | ▲ 5.3% |
| 参考 | 前年度 下半期実績合計 | 7,645 | 0 | 0 | 7,645 | 7,962 | 0 | ▲ 317 | |
| | 対前年度 下半期実績比 | | | | 288.4% | 340.6% | | | |

※その他収入の内容 射撃標的（クレール皿など）の販売収入

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

| 確認項目 | [参考] 上半期 | 下半期 | 通年 | 収支計画と異なる理由等 |
|-------------------------|-------------|-----|----|--|
| ① 収入の増減（収支計画対比±10%以上） | ○ | ○ | ○ | 当初想定よりも団体利用が少なかったこと、利用者の高齢化による競技人口の減少、更に下半期は狩猟期(11月～2月)に客足が遠のいたことから、収入減となった。 |
| ② 支出の増減（収支計画対比±10%以上） | ○ | ○ | ○ | 利用が少なかったことから、相対的に標的等の仕入れを少なくしたこと、可能な業務は極力職員で対応することにより、支出の抑制減に努めた。 |
| ③ 収支差額のマイナス（収支計画収支差額対比） | × | ○ | ○ | 収入の減少を業務の職員対応による支出の抑制で補う努力を行ったものの、完全には解消に至らず、赤字となった。 |

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等

基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：協定書上県による負担はない

| | 金額（千円） | 工事箇所・内容（金額） |
|-----|--------|-------------|
| 上半期 | | |
| 下半期 | | |
| 合計 | 0 | |

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

| | 金額（千円） | 内容 |
|-----|--------|----|
| 収入 | 0 | |
| | 0 | |
| | 0 | |
| | 0 | |
| 支出 | 0 | |
| | 0 | |
| | 0 | |
| | 0 | |
| 積立等 | 0（期首） | |
| | 0（期末） | |

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等

支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等

積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 D

(評価の目安)

今年度下半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

- 目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で
- A : 105%以上
 - B : 95%以上～105%未満
 - C : 85%以上～ 95%未満
 - D : 85%未満

- 入所施設等定員がある場合、定員比で
- A : 100%
 - B : 90%以上
 - C : 80%以上
 - D : 80%未満

| | 利用者数 | 前年同期利用者数 | 前年同期対比増減率 |
|-----|---------|----------|-----------|
| 10月 | 1,424 人 | 0 人 | % |
| 11月 | 1,623 人 | 0 人 | % |
| 12月 | 1,009 人 | 0 人 | % |
| 1月 | 1,097 人 | 0 人 | % |
| 2月 | 947 人 | 0 人 | % |
| 3月 | 2,070 人 | 0 人 | % |
| 合計 | 8,170 人 | 0 人 | % |

| | 利用者数 | 前年同期利用者数 | 目標利用者数 (または定員数) | 目標(定員) 対比増減率 | 前年同期 対比増減率 |
|------|----------|----------|--------------------|-----------------|---------------|
| 下半期計 | 8,170 人 | 0 人 | 10,601 人 | ① 77.1 % | ② % |
| 上半期計 | 9,578 人 | 0 人 | 10,601 人 | ① 90.4 % | ② % |
| 合計 | 17,748 人 | 0 人 | 21,202 人 | ① ▲ 16.3 % | ② % |

※目標値の設定の有無

| | |
|--|--|
| 設定している 期間 <u> </u> 基準 <u> </u> | その他の場合の期間 <u> </u> その他の場合の基準 <u> </u> |
| 通年 指定管理者提案値 | |

利用状況に関する確認等

| 確認項目 | [参考] 上半期 | 下半期 | 通年 | 理由及び対応策 |
|-------------------------------------|-------------|-----|----|--|
| ① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下) | ○ | ○ | ○ | 当初見込んでいた団体利用の大会件数が伸びず、また、狩猟期における利用者の減少等が大きかったため。対応策としては、26年度は積極的な大会招致のための活動と、狩猟期に射撃場主催のイベントを企画・開催し、利用者の拡大に努める。 |
| ② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下) | | | | |

<参考>

施設の最大利用可能人数 ※利用種目、時間、流動人数など条件により異なり算出不可

| | | | | | | | | 合計 |
|----------------|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 定員(1日あたりの延べ人数) | | | | | | | | 0 |
| 年間利用可能日数 | | | | | | | | |
| 最大人数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 半期 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 A

（評価の目安）

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

- A：80%以上
- B：60%以上～80%未満
- C：40%以上～60%未満
- D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上
- ：今回は実施していない

| | とても 良い | 良い | 普通 | 悪い | とても 悪い | 合計 | 上位2段階 の割合 |
|---------------|-----------|----|----|----|-----------|-----|------------------|
| 総合満足度の回答結果 | 48 | 29 | 15 | 4 | 0 | 96 | 77 (81.0%) |
| [参考] 上半期結果 | 92 | 34 | 30 | 10 | 0 | 166 | 126 (76.0%) |

※今年度の実施予定

※配布・回収件数

※実施方法

上半期 1 回 配布 106 件 利用者等に配布
 下半期 1 回 回収 96 件 リストから選択
 その他 回収率 90.6% % リストから選択
 リストから選択

5 苦情・要望等

評価 B

（評価の目安）

- A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。
- B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。
- C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。
- D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

報告件数

| 下半期報告件数 | 口頭 | | 文書 | | | 合計 |
|------------------|-------|-------|-------|-------|----------|-------|
| | 対面 | 電話 | 手紙 | 電子メール | 簡易アンケート等 | |
| 上段：報告件数 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 下段：報告件数のうち所管課受付分 | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) |
| [参考] 上半期結果 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) | (0) |

苦情・要望等への対応

該当あり

| 分野 | 概要 | 対応状況 |
|-------|------------------------------------|--------------------------------------|
| 施設・設備 | トイレの洋式化とウォシュレットの設置をして欲しい。 | クレー管理棟の既存洋式トイレをウォシュレットタイプに変更した。 |
| | 案内看板を増やして欲しい。 | 施設案内図を掲示するとともに、職員に丁寧な案内を行うよう指導を徹底した。 |
| 職員対応 | プーラー(クレー放出機、スコアボード操作員)の習熟度を上げて欲しい。 | 従業員の勉強会(パソコン指導勉強会)を開き、能力の向上に努めた。 |
| 事業内容 | | |
| その他 | | |

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 A

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当なし

| 発生日 | 事故等の概要 | 原因・問題点 | 指定管理者の対応状況・改善策等 |
|-----|---|--------|-----------------|
| | <p>【事故・不祥事等を防止するための積極的な取り組み】 「安全は全てに優先する」を施設運営の大原則に掲げ、日頃から従業員に対する安全管理教育を徹底している。 また、銃砲を扱う特殊な施設であることを踏まえ、射撃指導員資格を有する職員が場内を定期的に巡回するほか、見学目的での来場者も必ず受付で確認し、「見学者」のプレートを身に付けさせるなどの取組を行っていることからA評価とした。</p> | | |
| | | | |

随時モニタリングの実施状況

該当なし

| 実施日 (事故発生日) | 経緯・調査内容 | 調査結果等 |
|----------------|---------|-------|
| () | | |
| () | | |
| () | | |